

環境省「グリーンライフ・ポイント（GLP）」推進事業

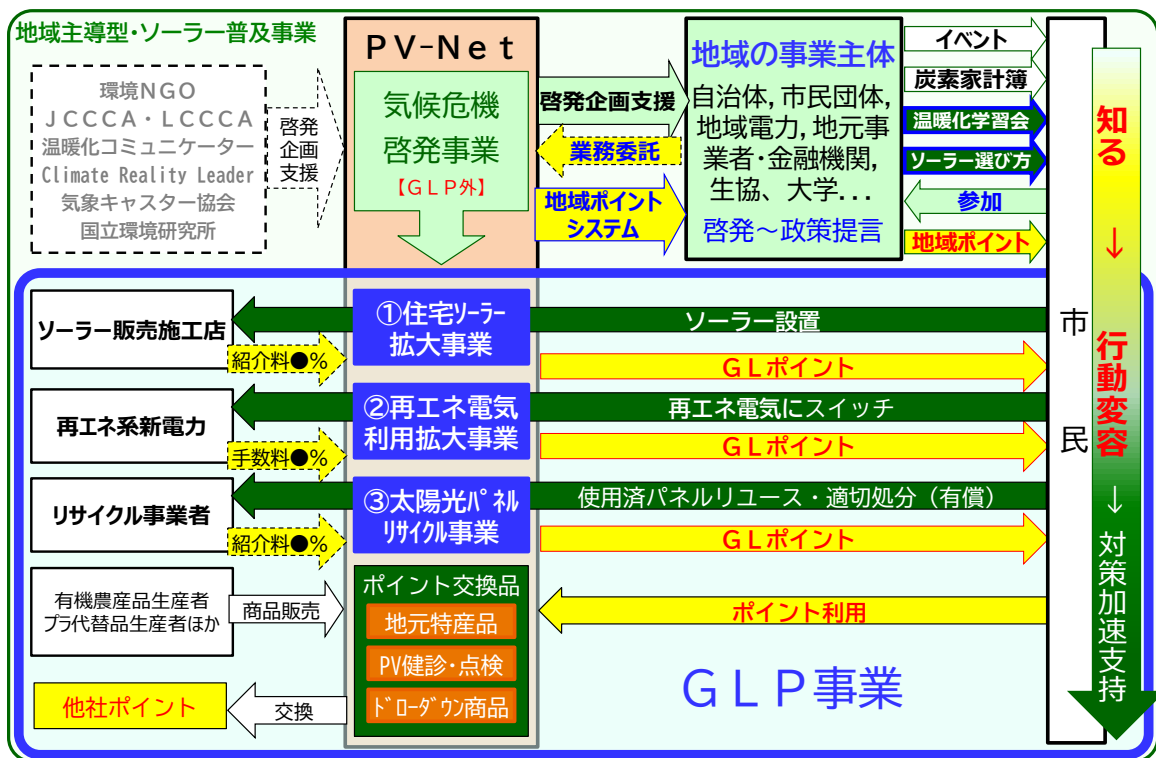
「地域主導型・ソーラー普及事業」協力のお願い（付：ソーラー設置義務化についての考察）

認定NPO太陽光発電所ネットワーク（PV-Net）

■ 事業の概要・ポイント

①住宅ソーラー 拡大事業	温暖化学習会	ホットハウス・アースなど、気候危機のこの重大性を伝達。 「知る」ことが行動変容のスイッチ = ソーラー、再エネ電気へ
	ソーラー & 蓄電池学習会	電気代削減を訴求。正しい情報を伝達。気候啓発も。
	ソーラー設置検討サポート	実績のある業者の紹介～セカンド・オピニオン → 安心
②再エネ電気利用拡大		地元公共施設・住宅等の「安い非FIT電気」を地産地消
③撤去パネルのリユース・リサイクル事業		大量廃棄時代に備え、適切処分のルートづくり。
★地域主導型	自治体固有の資源活用…市と市民・事業者のパイプ、既にあるコミュニティ→全市的取組	
★GLP付与	= ①ソーラー設置、②再エネ新電力へ切替、③撤去パネルを適正リサイクル処分した個人に	

地域主導型・ソーラー普及事業 全体イメージ



■ 協力をお願いしたいこと ※詳細はp.2～

- ①温暖化学習会、ソーラー & 蓄電池学習会の広報協力・自主企画。業者紹介なしの学習会のみも可。
- ②「公共施設ソーラー設置への市民参加・地産地消モデルづくり」への参加。
- ③全市的ムーブメントづくり …「炭素家計簿」で各家庭のCO2を見える化。地区別ランキング公表や表彰。
- ④太陽光パネルリサイクルのしくみづくり … 市民からの相談を市が受付 → 当会で取次 → 適切処分

★本事業への協力についての [アンケート（5問）](#) にご協力をお願いいたします。（2月回答済みの方除く）

【問合せ先】 TEL:070-6557-7984 メール：[tanaka66@greenenergy.jp](mailto:tanaka66@greenenergy.jp) PV-Net：田中

# 「地域主導型・ソーラー普及事業」への協力をお願い（各論）

## ①住宅ソーラー普及 → 温暖化学習会、ソーラー&蓄電池講座（温暖化ミニ講座付）の広報協力

### ○ 当会主催のオンライン講座について、自治体の広報紙やホームページ等での告知

- … 業者やネットの情報への不信感がある中、ソーラー設置を市民が納得して判断するためには、経済性やリサイクル問題など太陽光発電に関する中立的な立場からの正しい情報の提供が欠かせません。
- … 気候危機の内容を知ること、ソーラー設置だけでなく他の対策に対する支持、受容性も向上します
- … アナログ世代向けに会場リモート中継講座もご検討ください。

### ○ 販売施工業者を紹介 ※業者からの提案書のチェック、比較検討資料作成はオプション対応

- … 設置検討の際、最初のハードルとなるのが「信頼できる業者探し」です。中小住宅設備関連の業者には不信感をお持ちの方が一定あり、設置検討に踏み出せない理由の1つとなっています。
- ① 当会が一定の基準で選定した提携業者（業界団体加盟、一定数以上の施工実績等）または、
- ② 自治体の登録業者を紹介。

（参考）[登録業者紹介制度](#)を採用している足立区は23区でトップの設置率

東京都太陽光現況調査(23区)				<a href="#">リンク</a>
順位	区市町村	戸建数(棟)	パネル設置あり(棟)	設置率(%)
1	足立区	131,994	5,664	4.29%
2	練馬区	145,626	5,895	4.05%
3	世田谷区	170,855	6,626	3.88%
4	杉並区	118,571	4,410	3.72%
5	葛飾区	94,951	3,394	3.57%
⋮				

### ○ 基礎自治体ならではの行政資源を活用して全市的広報

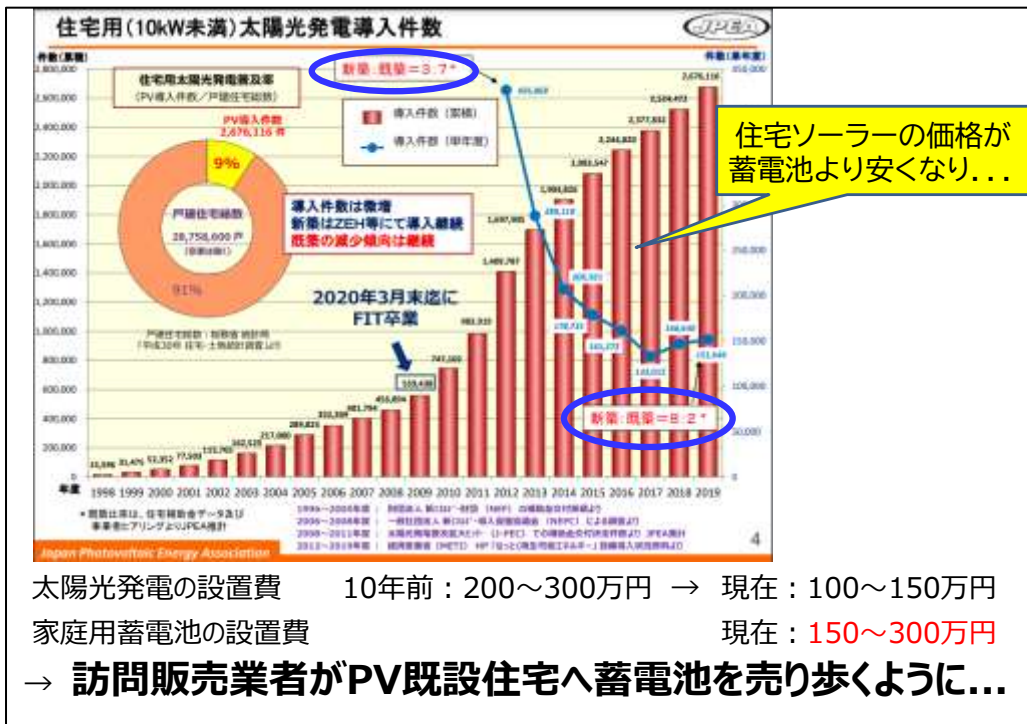
- … 学校→子育て層、商店街→利用者、地元事業者→社員・顧客向け広報、など「地域に既にある市と市民・事業とのパイプ」を活用、市の部署間連携

（参考）小平市の環境防災イベント → 朝10時に200人の行列

環境政策課 + 防災課 + 産業振興課 + 商店街 + 地域NPOのコラボ + 地域商品券



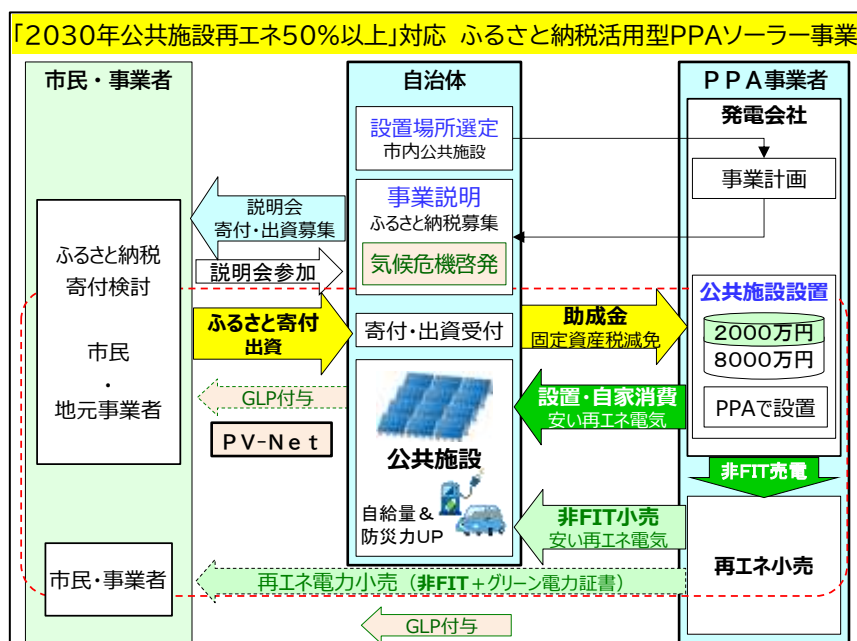
(参考) 住宅ソーラーは、なぜ失速したのか. . .



- 10年前、ソーラー販売ルートは大手ハウスメーカーの新築が4割、訪問販売業者の既築が4割。
- ソーラー価格低下で蓄電池より安くなった → **蓄電池の方が儲かる**、非常用電源訴求で売りやすい、大型補助金が出ている、GoogleMapでソーラー既設住宅だけ効率よく回れる. . .
- ⇒ 訪問販売業者が「ソーラー既設住宅への蓄電池販売」にシフト
- ⇒ ソーラー未設置既築住宅へのプッシュ営業者が激減した分、既築住宅設置が減少
- ⇒ 未設置住宅向けには、補助金大盤振る舞いか、**新たな情報伝達ルートで動機づけが必要**

② 公共施設50%ソーラー設置 市民参加型モデル事業づくりへの参加

自治体の設置費用負担ゼロのPPAモデルをベースとし、ふるさと納税寄付や市民出資で、**マンションやアパートに居住の市民も再エネ拡大に参加する機会**を提供。事業説明会で気候危機を啓発。



■国の実行計画 → 「地方公共団体実行計画 策定・実施マニュアル（事務事業編）」 2022年3月  
 ⇒ 自治体も2030年設置可能な建築物等の50%以上への設置が目標

■ PPA方式+市民出資のため、自治体の設備費負担はゼロ。

①用途限定ふるさと納税寄付（市民・企業版） ※居住自治体への寄付のため返礼品はなし。

②市民出資（市営ファンド）…地方公共団体は金融商品取引法の適用外。実務は地元金融機関で。  
 … 配当は長期国債利回り+α程度のローリターンで十分。「貯金の利子より高ければ」という人を対象。

③PPA事業者の固定資産税減免（市が設置すれば入らない税収。税収が今より減るワケではない。）  
 （+国の助成金）

⇒ 集合住宅・賃貸住宅居住者も再エネ拡大に直接参加可能。住民税流出削減効果も多少期待。

⇒ 寄付の分、PPA事業者の費用負担減少。市民出資分は低コストで資金調達。 → 非FIT電気を安く

→ 公共施設では安い非FIT電気を自家消費。余剰は市内施設や市民が購入 → **CO2削減**

→ 蓄電池併設で**防災力向上**。EVなら電気の配達可… 医療電子機器利用者、水道ポンプ…

■ 追加性（CO2排出量の実削減効果）が重要。「実質再エネ」には直接的な追加性なし。帳尻合わせ

■ 公共施設は市と市民の貴重な接点。「行ってみたら知らない間にソーラーが付いていた」ではもったいない。

→ 周辺住民向け説明会で気候危機啓発 = コトの重大性を知るキッカケに → 省エネ再エネ実践加速

■ ふるさと納税寄付、出資 という環境配慮行動に当会からCool Earth ポイント 付与を検討。

■ 民間事業所にも応用可能。

### ③ 炭素家計簿でCO2見える化 → 全市的ムーブメントに

(参考)小平市環境家計簿



○毎月の電気、ガス、ガソリン等の使用量や、太陽光発電量を登録 → CO2換算 → 類似世帯比較  
 → 「わが家はエコ」のつもりでも本当にエコかどうかデータで知っている人はほぼ皆無

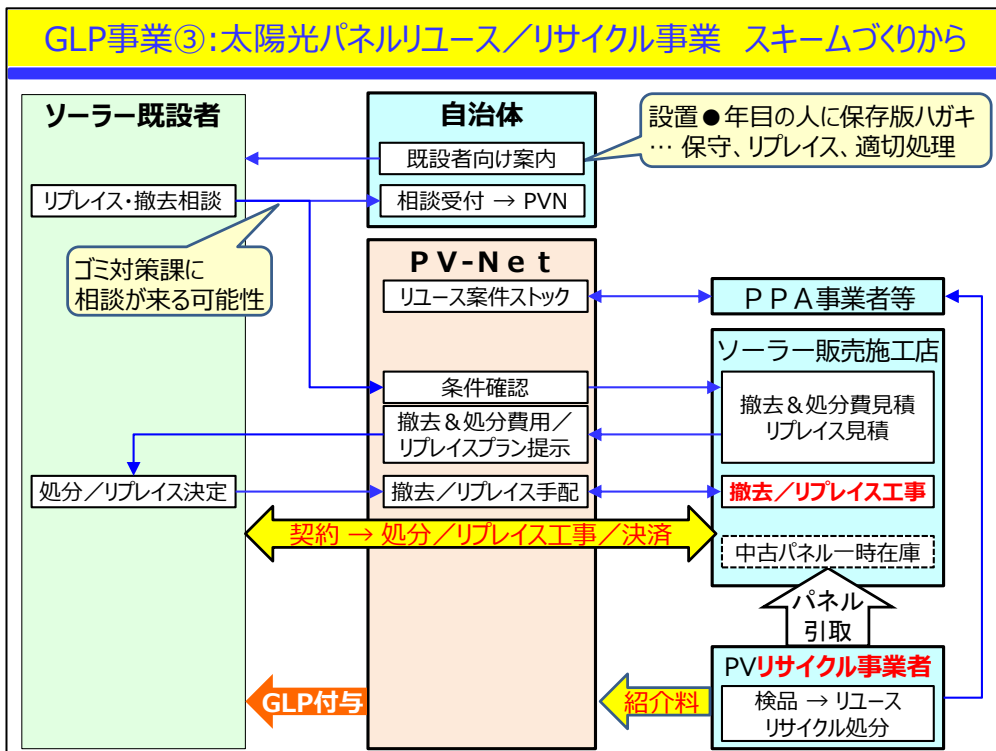
## CO2を、コミュニティごとに見える化



- 家庭が個別に使うだけでなく、地区ごとの平均比較やランキング・表彰などで全市的な取り組みツールに。
- 低排出家庭の工夫や設備をネットで共有
- 当会で全国共通版プラットフォーム開発 → 自治体の費用負担は地図部分等と保守費用のみ。近隣自治体との比較可能。

### ④ 廃パネル適切処分 (リユース、リサイクル) のルートづくり

- 今はまだごく少数とはいえ、確実にやってくる大量廃棄時代に入る前に廃パネルリサイクル処分ルートづくりが不可欠。現状はほとんど埋め立て処分。



○業務の流れ

- 1)市民から撤去や廃棄の問い合わせがあった場合、当会にご連絡頂だけ。  
 ※産廃は都道府県管轄ですがそれは行政の都合。市民にとって家庭廃棄物の窓口は基礎自治体。
- 2)当会で設備の状況等を聞き取り、適正リサイクル可能な産廃業者に照会 → 処分費用見積提示
- 3)契約 → パネル撤去 → 適切処分（リユースまたはリサイクル）
- 4)適切処分された個人に当会からGLポイント付与

**(付) 新築住宅へのソーラー「設置義務化」と「設置検討義務化」について**

■東京都の義務化制度の概要

- 新築義務づけ対象は大手住宅事業者 → 都内年間新築棟数の50%前後のシェア。  
 1棟あたり義務量 = 2kW → 平均的な設置容量の約50% → 2軒に1軒、4kW設置すれば可。  
 → 条例で確保できる最低義務化率は50%×50% = 25%以上。  
 → 既に設置率5割超の大手事業者での上積み、中小事業者への波及効果に期待。
- 破格の補助金とセット … 他の自治体ではモデルとできないレベルの破格の助成金。

助成対象機器		助成率
太陽光発電システム	新築住宅	[3kW以下の場合] 12万円/kW (上限36万円) [3kWを超える場合] 10万円/kW (50kW未満) ただし、3kWを超え3.6kW未満の場合 一律36万円
	既存住宅	[3kW以下の場合] 15万円/kW (上限45万円) [3kWを超える場合] 12万円/kW (50kW未満) ただし、3kWを超え3.75kW未満の場合 一律45万円

■ 蓄電池システム			
助成対象機器	助成率	上限額	
■ 2023年1月30日以前に申請をされた方			
蓄電池システム	機器費の1/2	【太陽光（4kW以上）と蓄電池を併せて設置の場合】 以下のうちいずれか小さい額（最大1,000万円） (a)蓄電池容量：10万円/kWh（100kWh未満） (b)太陽光発電設備容量：20万円/kW  【太陽光（4kW未満）と蓄電池を併せて設置又は蓄電池のみを設置の場合】 10万円/kWh（最大80万円/戸）	
■ 2023年1月31日以降に申請をされた方			
	助成対象経費の3/4	【太陽光（4kW以上）と蓄電池を併せて設置の場合】 以下のうちいずれか小さい額（最大1,500万円） (a)蓄電池容量：15万円/kWh（※） (b)太陽光発電設備容量：30万円/kW  【太陽光（4kW未満）と蓄電池を併せて設置又は蓄電池のみを設置の場合】 15万円/kWh（※）（最大120万円/戸）  （※）ただし、蓄電容量が5kWh未満の場合は19万円/kWhとし、5kWh以上6.34kWh未満の場合は、上限95万円	

義務化後も同等の補助金が継続されると、実質的な設置促進効果は補助金の寄与が大。

(既にネット販売、訪問販売業者が「今なら補助金100万円」をアピールして営業中)

- 太陽光発電は10年前後で元が取れ、保証切れ後のパワコン交換費や撤去費用を差し引いても数十万円以上の利益が得られる私有財産。設置したくてもできない集合住宅や賃貸住宅居住の市民との税負担の公平性という視点からの評価も必要では？ 目的は手段を正当化しないので。
- 蓄電池の助成金15万円は相場の8割以上の補助率。非常用電源の恩恵を享受できるのは基本、設置者のみ = 公共施設等への自律分散型配置とは性格が異なる。どういふ公益貢献に対する助成なのか、合理的説明が必要では？

○ 気候危機啓発とセットで

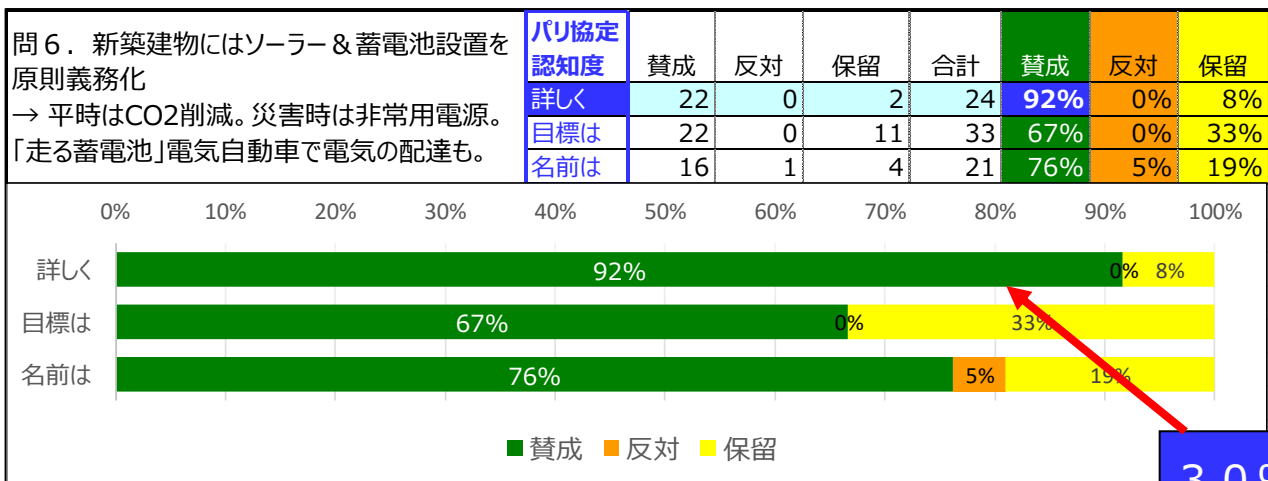
義務化により事業者から施主への説明が行われる際は、機器に関する説明だけでなく気候危機に関する情報伝達も入れるべき。

■ ソーラー「設置検討」義務化のススメ … 検討プロセスに気候危機学習を入れる

○ 気候危機の内容を「詳しく知っている」かどうか ⇒ 対策の必要性意識に大きな違い

例：新築建物へのソーラー設置義務化賛否 … 「詳しく知っている人」とそうでない人で30%の差

■ 学習会参加者のうち「詳しく知っている人」(パリ協定、IPCC報告概要) ⇒ 義務化賛成 = 92%



30%の差

○ 一般市民向けアンケート 義務化賛成 = 60% / 反対・保留 = 40%



○「詳しく知っている人」は、市民全体ではまだ1000人に1人未満？

学習会参加者のうちTipping Point等まで「詳しく知っている」という人は10%未満。既に意識や関心が高い人の参加が多いことを考慮すると市民全体では0.1%未満と推定。

異常気象増加に対する「将来不安」とコトの重大性理解に基づく「危機意識」では、必要と思う対策のレベルやスピード感が大きく異なります。

市の対策への理解や国の政策への関心を高め、民主主義的なプロセスで対策を加速していくためには、遠回りのようでも、まず、市民が「知ること」が不可欠です。

参考資料 オンライン学習会の内容、参加者の評価

[イベントページリンク](#)

■ 350.Japan制作の短編ドキュメント 『気候変動と日本』上映会+温暖化入門セミナー



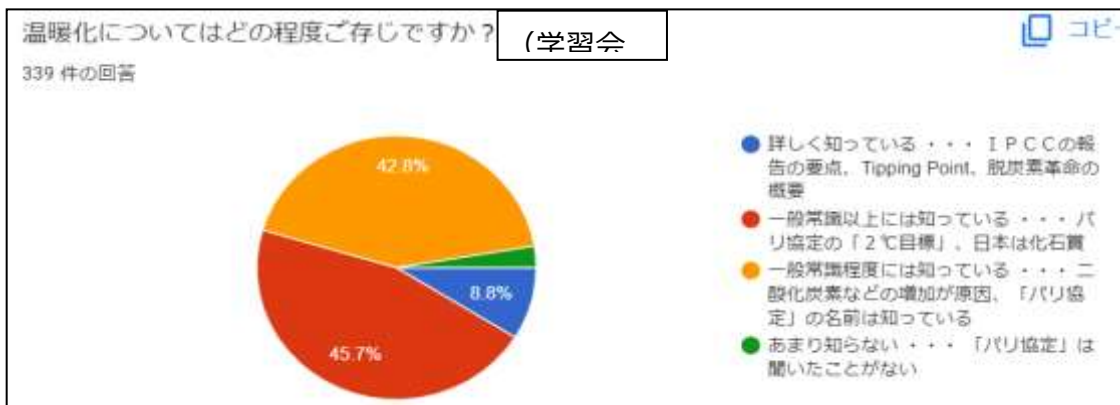
『Signs From Nature—気候変動と日本』上映会  
& 温暖化入門セミナー

**【第1部】 温暖化の影響**

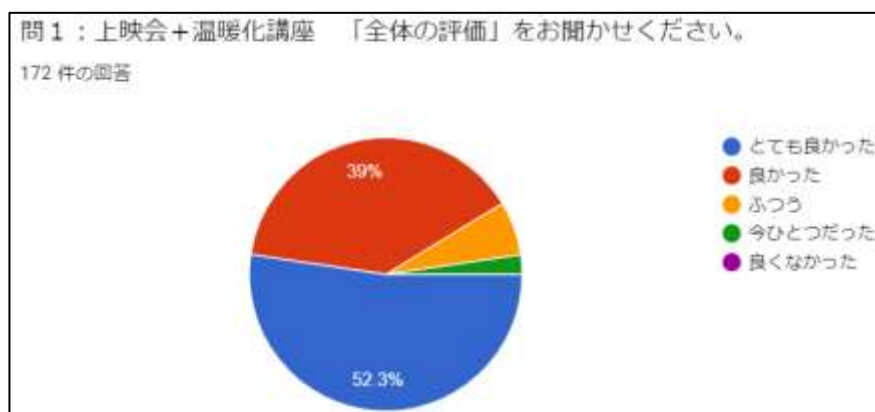
- 既に起きている影響 … 『気候変動と日本』ほか映像紹介、異常気象と温暖化
- 気候危機 … 「1.5°C未満」、Tipping Point、**ホットハウスアース** (休憩)

**【第2部】 温暖化対策**

- パリ協定、脱炭素革命、日本の対策
- 私たちにできる5つのこと



※「一般常識程度」、「常識以上」という方に、Tipping Point、ホットハウスアースまで伝えることが目的。



※「とても良かった」+「良かった」で90%超の高評価。

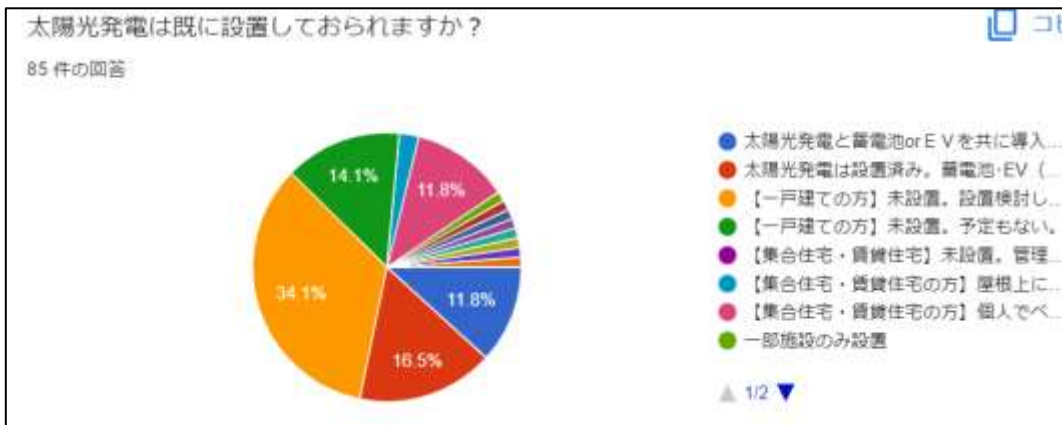
<b>問2：全体についてのご意見や感想、印象に残ったことなどをお聞かせください。</b>
北海道から沖縄に住んでいる方の地域の気候危機の実感が迫力がありました。
温暖化を肌で感じている国内各地の報告に、待たなしの状態であることの緊迫感を感じた
難しい話をかみ砕いて分かりやすく説明して下さったので、理解しやすかったです。
Tipping Pointは10年ほど前に臨界点などと訳していたが、今回の話で実感が湧いた。
Climate Justiceで世代間、地域間の不公平を痛く感じている。
地域の交流の場の紹介を頂けると幸いです。
最後のパート「政治を動かすためにどうすべきか」という部分について共感するところが多く、心強く感じました。
関心はあっても普段温暖化について活動したり、調べたりしていない私にもわかりやすかったです。
映画やグラフなど資料も印象に残りました。特に印象に残ったwordは、IPCCと tipping point です。
tipping pointはもっと多くの方が、特に子どもたちが知るといいなと思いました。
一人ひとりが足元の政治から関心を寄せて、その一人ひとりが国内や世界と繋がっていくことが大切だと感じました。

■「電気代削減！CO2削減！非常用電源！ソーラー＆蓄電池の賢い選び方」

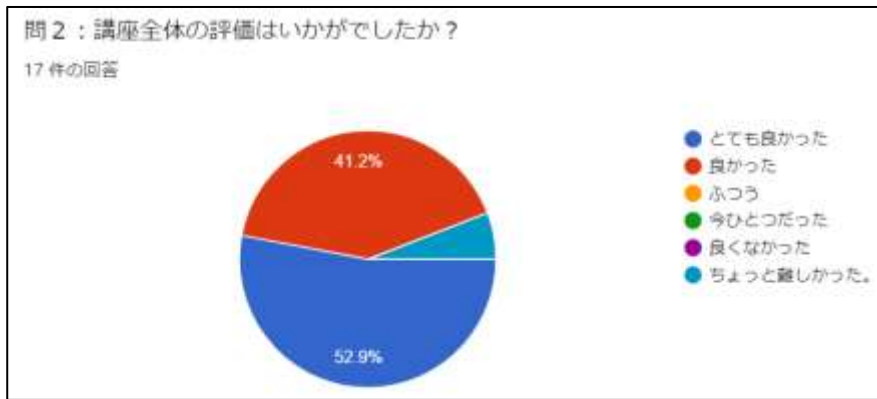


**非常用電源！ わが家にも・地球にも  
ソーラーパネルと蓄電池の選び方**

- 【1】電気の基礎知識 … W と Wh、直流と交流、など
- 【2】住宅用太陽光発電 … しくみ、メリット・デメリット、費用と経済性
- 【3】ベランダ発電（パネル1～2枚＋ポータブル蓄電池）・ミニ電源
- 【4】ソーラー連携型蓄電池の選び方 … 容量は？チェックポイントは？
- 【5】気候危機 … このまま温暖化が進むとどうなる？



※ソーラー既設者≒20%弱、戸建未設置≒50%、集合住宅等ポータブル蓄電池検討≒10%



電気のことをまったく知らない自分にも比較的分かりやすかったです。

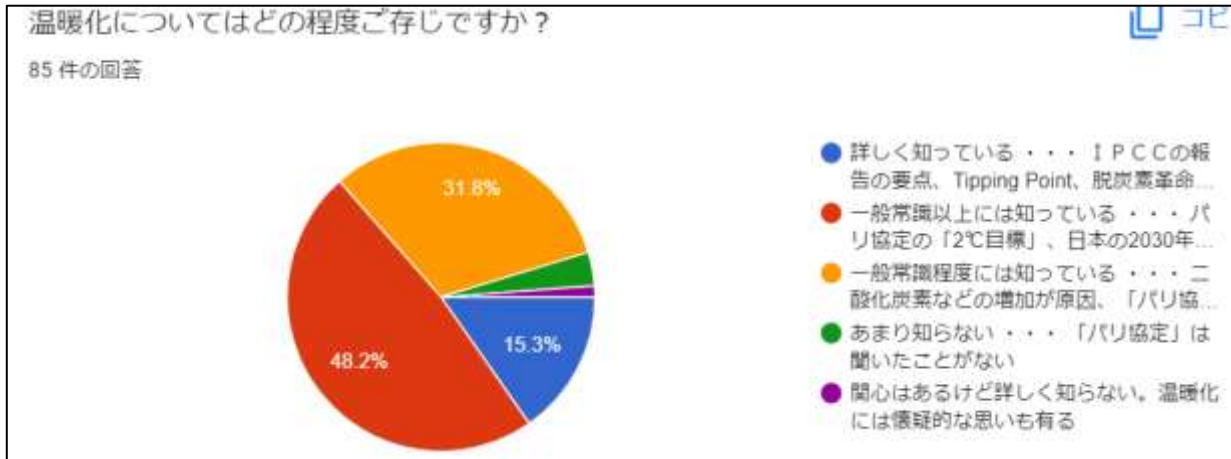
太陽光パネルの設置や、蓄電池について話を聞けるところがなかった（設置もしないのに）のでありがたかったです。デメリット、環境負荷などユーザーに必要な情報や今はまだ蓄電池の元は取れないなど知ることができてよかったです。蓄電池購入の相談や斡旋事業も始めるということですが、これから必要なことだと思います。今日はありがとうございました。

以前蓄電池の売り込み電話を受けてから、どのようなものか気になっていたのですが、今回参加させていただきました。EVも選択肢に入るとは、なるほどですね！

最近、車内泊などでよく見かけるジャックリーの蓄電池の話まで出てきたので、とても良かったです。

お話がコンパクトにまとまっていて、俯瞰的な知識を得ることができました。ありがとうございました。

丁寧で優しい説明で理解が深まりました。新たに太陽光を付ける場合とは別に、卒FITの場合ほどの様に仕組みを構築すればよいかも解説頂けるともっとよかったです。



※「ソーラー入門セミナー」より若干、「詳しく知っている」「一般常識以上」という方が多め。

■ オンライン講座 日程 [最新日程 リンク](#)

日程	曜日	時間	講座名
2月24日	金	19:30～21:00	値上がりしない自然エネルギー ソーラー&蓄電池の賢い選び方
3月2日	木	19:30～21:00	短編フィルム『気候変動と日本』上映会&温暖化入門講座
3月16日	木	19:30～21:00	値上がりしない自然エネルギー ソーラー&蓄電池の賢い選び方
3月17日	金	19:30～21:00	短編フィルム『気候変動と日本』上映会&温暖化入門講座
4月6日	木	19:30～21:00	値上がりしない自然エネルギー ソーラー&蓄電池の賢い選び方
4月13日	木	19:30～21:00	短編フィルム『気候変動と日本』上映会&温暖化入門講座
4月28日	金	19:30～21:00	値上がりしない自然エネルギー ソーラー&蓄電池の賢い選び方
5月5日	金	13:30～15:00	短編フィルム『気候変動と日本』上映会&温暖化入門講座
5月19日	金	19:30～21:00	値上がりしない自然エネルギー ソーラー&蓄電池の賢い選び方

■ 一定の参加が見込める場合は、個別自治体向けで専用の学習会開催も可能です。ご相談ください。

■ 参加申込みフォーム [リンク](#) ★視察歓迎

上映会&温暖化入門講座 [上映会&温暖化](#)

ソーラー&蓄電池の賢い選び方 [ソーラー&蓄電池](#)